

東京クワルテット解散後、日本発祥で20年以上国際的な活躍をする唯一の存在。

ロータス・カルテット



Lotus String Quartet

小林幸子(ヴァイオリン) / マティアス・ノインドルフ(ヴァイオリン) / 山崎智子(ヴィオラ) / 齋藤千尋(チェロ)

実施可能期間(2016年4月現在) = 2018年 3月

Program A ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)

弦楽四重奏曲 後期作品全曲ツィクルス

(1日=昼夜2公演開催・金土 or 土日連続2日間開催可能・標準=平日3日間)

第1回 ◆弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 op.127 (1825)

◆弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 op.130 (1825)

◆大フーガ 変ロ長調 op.133 (1826)

第2回 ◆メンデルスゾーン(1809-1847):

弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 op.13 (1827)

～ベートーヴェン後期弦楽四重奏曲へのオマージュ

◆ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 op.132 (1825)

第3回 ◆弦楽四重奏曲 第16番 ヘ長調 op.135 (1826)

◆弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 op.131 (1826)

Program B ～“カルテット”は愛を伝える～

第1部 ウィーン・カルテット変遷記(おはなし付き)

◆ハイドン:『セレナーデ』～弦楽四重奏曲 op.3-5 第2楽章

◆モーツァルト:『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』(セレナーデ第13番)より

◆ベートーヴェン:弦楽三重奏のためのセレナーデ ニ長調 op.8 より

◆シューベルト:『白鳥の歌』より“セレナーデ”(弦楽四重奏編曲版)

◆ベートーヴェン:“カヴァティーナ”～弦楽四重奏曲 第13番 より

◆ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第16番 ヘ長調 op.16 より フィナーレ

第2部

◆シューベルト:弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810『死と乙女』

Program C フランツ・シューベルト(1797-1828) 没後190周年記念

◆弦楽四重奏曲 第13番 イ短調 D804『ロザムンデ』

◆弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810『死と乙女』

Program D シューマン:弦楽四重奏曲全曲演奏会

◆第1番 イ短調 op.41-1 ◆第2番 ヘ長調 op.41-2 ◆第3番 イ長調 op.41-3

平成18年度 文化庁芸術祭 優秀賞(レコード部門)受賞

1992年結成。1993年 大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門で第3位入賞。(会場=大阪・いずみホール)

1995年 ドイツ・シュトゥットガルト音楽芸術大学に入学。メロス弦楽四重奏団に師事。すでに日本国内での活躍が約束されていた若い音楽家たちが、そのキャリアを断ち切って、弦楽四重奏という深遠、厳格な世界を極めるべく、そろってドイツに留学してしまっただけは過去に例がなく、大きな注目を浴びた。

メロスは勿論のこと、アマデウス弦楽四重奏団やラ・サール弦楽四重奏団など、二十世紀を代表する名カルテットの厚い薫陶と信頼を一身に受けたロータス・カルテットは次第に本場ヨーロッパで頭角を現した。

1997年 難関のロンドン国際弦楽四重奏コンクールでメニューイン特別賞を、パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクールで第3位特別賞を受賞。さらにドイツBDI音楽コンクール弦楽四重奏部門で第1位に輝く。このコンクールにおける弦楽四重奏部門での第1位受賞は、ロータス・カルテットの師である、メロス弦楽四重奏団以来の快挙であった。これを機に、ワーナー・テルデックと録音契約を結び、CDを世界にリリースするなど、以後今日までシュトゥットガルトを拠点に極めて充実した演奏活動を展開している。

メロス弦楽四重奏団も第1ヴァイオリン奏者のウィルヘルム・メルヒャーが2005年に逝去したことにより、ロータス・カルテットはメロス弦楽四重奏団のために予定されていた多数の公演を代役として、あるいはメロスの残されたメンバーとの合同演奏により救援するなど一層多忙を極めることになるとともに、アマデウスやメロスの伝統を全く正統に継承して活動を続ける貴重な弦楽四重奏団として、本場ドイツにおいて安定した評価を得る成熟した弦楽四重奏団に成長した。

また2005年からはロータスと同じく、メロスやアマデウス、ラ・サールに学んだシュトゥットガルト弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者を長年務めたマティアス・ノインドルフがロータス・カルテットの第2ヴァイオリン奏者として加入することになり、大きな注目を集めた。

2006年には久々に“来日”し、シューマン没後150周年を記念して、東京と関西で『シューマン:弦楽四重奏曲全曲演奏会』を開催。同時期にリリースされた『シューマン:弦楽四重奏曲全集』CDが平成18年度 文化庁芸術祭 優秀賞受賞。

2008年にはベートーヴェン:ラズモフスキー・セット全曲演奏会を含む、10公演に及ぶ日本縦断ツアー、2010年にはシューマン生誕200周年を祝して、札幌コンサートホールと名古屋 宗次ホールからの招きにより3度目の『シューマン:弦楽四重奏曲全曲演奏会』を行う。

2012年には結成20周年記念日本ツアーを挙げる。特に大阪では、国際的活動への出発点となった いずみホールにおいて、ゲストにセバスティアン・マンツ(クラリネット)を迎え、オール・ブラームス・プログラムによる結成20周年記念演奏会を開催。その模様はNHK-TV及びFMにおいて放送されたほか、同時期に記念ディスクとして発売された『ブラームス:弦楽四重奏曲op.51-1&2』『シューベルト:弦楽五重奏曲(チェロ:ペーター・ブック)&ウェーベルン:作品集』が いずれも『レコード芸術』誌で『特選盤』に選ばれるなど各新聞・雑誌において激賞された。この他にも好評を博しているレコーディングは数多い。

ロータス・カルテットは日本発祥ながらドイツを本拠とする国際的な常設弦楽四重奏団として、すでに20年以上のキャリアを誇り、今やドイツにおける弦楽四重奏の伝統的精神を受け継ぐ稀有な存在である。

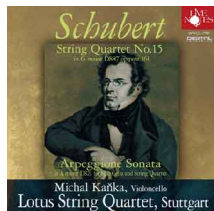
(2015年7月現在)

お問い合わせ/コジマ・コンサートマネジメント

TEL.03-5379-3733 / 090-3727-6539

URL▶<http://www.kojimacm.com> E-mail▶kojimacm@ops.dti.ne.jp

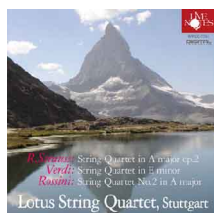
DISCOGRAPHY



シューベルト：弦楽四重奏曲 第15番、 アルペジオーネ・ソナタ (ソロ・チェロ&弦楽四重奏版) チェロ：ミハル・カニユカ

◆シューベルト：弦楽四重奏曲 第15番 ト長調 D887
アルペジオーネ・ソナタ (カニユカ編：ソロ・チェロ&弦楽四重奏版)

1-2 April 2014 Clara-Wieck- Auditorium, Heidelberg/Sandhausen, Germany / Studio Recording
Director: Yutaka Kojima / Engineer: Kohei Seguchi / Designer: Takanori Sugii
Co-Production: LIVENOTES Nami Records Co.,Ltd. / Kojima Concert Management Co.,Ltd.



R.シュトラウス / ヴェルディ / ロッシーニ：弦楽四重奏曲

◆R.シュトラウス：弦楽四重奏曲 イ長調 op.2
◆ヴェルディ：弦楽四重奏曲 ホ短調
◆ロッシーニ：弦楽四重奏曲 第2番 イ長調

The 26 April, 3 May & 12 September 2013
Clara-Wieck- Auditorium, Heidelberg / Sandhausen, Germany / session
Producer: Takashi Mitsukawa / Director: Yutaka Kojima / Engineer: Kohei Seguchi / Photo : Stefan Kraut
A production of NAMI Records in co-production with KCM, Kojima Concert Management
LIVE NOTES WWCC-7754



ハイドン：「ヴェネツィアの競艇」「五度」 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 ヘ長調 Hess 34

◆ハイドン：弦楽四重奏曲 ニ長調 op.20-4 H.III-34 「ヴェネツィアの競艇」
弦楽四重奏曲 ニ短調 op.76-2 H.III-76 「五度」
◆ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 ヘ長調 Hess 34 (ピアノ・ソナタ第9番 ホ長調 作品14-1の作曲者による編曲)

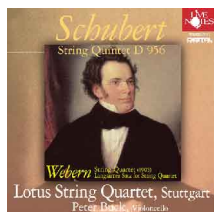
28 November, 2012 ... Haydn "The row in Venice" / 5 December, 2012 ... Beethoven, Haydn "Fifths"
Shinagawa Kuritsu Bunka Center, Tokyo, Japan / Session
Producer: Takashi Mitsukawa / Director: Yutaka Kojima / Engineer: Takashi Ikeda
LIVE NOTES WWCC-7731



～弦楽四重奏名曲紀行～《杉並公会堂ライブ》

◆ハイドン：“ヴェネツィアの競艇” op.20-4より第1楽章
◆モーツァルト：“ミラノセット” 第1番 ニ長調 K.155より第1楽章
◆プッチーニ：菊の花
◆レスピーギ：シチリアーノ
◆ヴォルフ：イタリアン・セレナーデ
◆ドヴォルジャーク：“アメリカ”より第4楽章
◆バーバー：アダージョ
◆ラヴェル：弦楽四重奏曲 ヘ長調

30 November, 2012 Suginami Koukaidou, Tokyo / Live
Producer: Takashi Mitsukawa / Director: Yutaka Kojima / Engineer: Takashi Ikeda
LIVE NOTES WWCC-7728

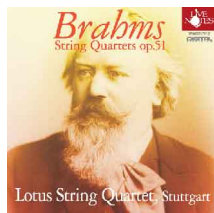


レコード芸術誌 2013. 3月号 特選盤

シューベルト：弦楽五重奏曲 チェロ：ペーター・ブック

◆シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D956
◆ウェーベルン：弦楽四重奏曲 (1905)
◆ウェーベルン：弦楽四重奏のための緩徐楽章 (1905)

Clara-Wieck-Auditorium, Heidelberg / Sandhausen, Germany
28 June 2011, Webern 29,30 June 2011, Schubert
Producer: Takashi Mitsukawa / Director: Yutaka Kojima / Engineer: Kohei Seguchi
LIVE NOTES WWCC-7713

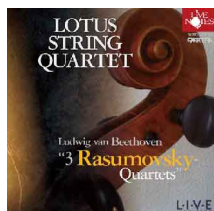


レコード芸術誌 2013. 2月号 特選盤 / 優秀録音

ブラームス：弦楽四重奏曲 作品51

◆弦楽四重奏曲 第1番 ハ短調 作品51-1
◆弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 作品51-2

Clara-Wieck-Auditorium, Heidelberg / Sandhausen, Germany
28,29 March 2012
Producer: Takashi Mitsukawa / Director: Yutaka Kojima / Engineer: Kohei Seguchi
LIVE NOTES WCC-7712



レコード芸術誌 2011. 10月号 準特選盤

ベートーヴェン：ラズモフスキー (全3曲)

◆弦楽四重奏曲 第7番 ヘ長調 作品59-1 『ラズモフスキー第1番』
◆弦楽四重奏曲 第8番 ホ短調 作品59-2 『ラズモフスキー第2番』
◆弦楽四重奏曲 第9番 ハ長調 作品59-3 『ラズモフスキー第3番』

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall ; September 30, 2008 Live Recording
Producer: Takashi Mitsukawa / Director: Yutaka Kojima / Recording Engineer: Takashi Mitsukawa / Mastering Engineer: Keiichi Okao
LIVE NOTES WWCC-7677-8



平成18年度 文化庁芸術祭 優秀賞 (レコード部門) 受賞

シューマン：弦楽四重奏曲全集

◆弦楽四重奏曲 第1番 イ短調 op.41-1
◆弦楽四重奏曲 第2番 ヘ長調 op.41-2
◆弦楽四重奏曲 第3番 イ長調 op.41-3

Lilis, Sakae Culture Center, Yokohama ; January 29, 30 2003
Producer: Takashi Mitsukawa / Director: Yutaka Kojima, Kojima Concert Management Co.,Ltd. / Engineer: Takashi Ikeda
LIVE NOTES WWCC7524

ヴァンハル：弦楽四重奏曲 ハ短調 op.1-4, 変ホ長調, ヘ長調, イ長調 op.33-2 March 2009, Stuttgart, Germany CPO, DDD: 2646980

Landscapes Yashiro, Nishimura, Hosokawa, Takemitsu, Miyoshi Fono Forum / März 2001 Teldec/Warner CD 3983-25015

Mozart：Streichquartette ◆D-Dur KV575 ◆B-Dur KV589 Fono Forum / März 1998 Teldec/East West CD 0630-19975-2